

## 次期ごみ処理施設建設に伴う生活環境影響調査説明会議事録（概要）

場 所：千城台コミュニティーセンター

日 時：平成30年9月23日（日）

午後2時30分～午後4時30分

参加者：11名

市職員：麻生環境経済部次長、荒木環境経済部参事

花島廃棄物対策課長、丸山クリーンセンター長

青木廃棄物対策課長補佐兼ごみ処理施設整備推進室長

東環境政策課主任主事、池田廃棄物対策課主任主事

江河廃棄物対策課主事、西崎廃棄物対策課主事

アドバイザー：(公社)全国都市清掃会議・林田技術部課長

ユーロフィン日本環境(株)・平山氏、浅田氏

### 1 開 会

(省略)

### 2 あいさつ

(省略)

### 3 次期ごみ処理施設建設に伴う生活環境影響調査結果について

(省略)

### 4 質疑応答

#### ○参加者

稼働した後のモニタリングで、万が一今日説明された値を超えた場合どういった対応をするのか。また、生活環境影響調査の中に土壌、地下水の調査が排除されている。この件について、並木川の下流に住んでいるため問題がある。以前、日常的に今ある場所に残土が捨てられているのを多くの人が目撃している。これが、生活環境に影響がないというのは、全くないのだから、入れてもらいたい。以前電話で問い合わせたときは、表土をとって問題がなければそれ以上調査をしないといわれた。これを環境省、千葉県に問い合わせたが、地歴調査を県に提出して、了承を得てから適切な対応をとるとのことであったので、今回の四街道市の調査が行われているのであれば、単なる自主的な調査でしょうから、環境省、県は関与できないといていた。そこで、地歴調査を適切に行っているかがとても疑問ある。また、この生活環境影響調査報告書に記載されていない項目も調査をしている

と思うので、開示してもらいたい。なんでこんなことを言うかということ、並木川周辺の四街道市側で産業廃棄物の過量投棄のせいで千葉市側の護岸が崩れてきている。一年前から改善要求を出しているが、この一年間全く進展がない。今は、千葉市を通して、県にあげて対応を求めているが、そういった四街道市の行政のやり方に対して、このような報告書では、信用できない。

#### ○四街道市

モニタリングについては、施設建設後も排ガス等の調査を定期的に行う予定となっている。調査結果については、公表する予定である。公表の具体的な方法としては、未定となっている。次に、ごみ処理施設で環境基準や、自主規制値を超えた場合にどのような対応をとるかについては、施設の停止、運転の短縮などの対応を取ったうえで、原因究明をおこない、対策をとってから再度稼働することを考えている。

#### ○四街道市

土壌調査については、今回、調査項目とはなっていない。土壌汚染対策法の中で、地歴調査、表土調査、その後調査結果をみて、深度調査と進んでいくこととなる。現在千葉県担当課と協議を行い、地歴調査、表土調査を行っている。なお、地歴調査は完了している。現在調査している内容は、土壌汚染対策法に基づく届出をした後に実施するものを事前に行っている。これについても県の担当と協議を行い進めている。

#### ○参加者

表土が問題なければ、他は問題ないと結論を出すのは、早いのではないか。産廃業者が表土に悪いものを埋めるわけがない。地下水への影響は、表土よりも地下のほうが、影響が早いのではないかと思う。必要に応じて、深度を何十本か場所を変えてやったうえでないと問題ないと言えないのではないか。地歴調査の際に、ここは谷津田だったから何mのボーリングをなさないとかいうのはないのか。

#### ○四街道市

地歴調査については、深いところまで調査をしている。以前、県の許可で埋め立てた時の土壌の調査結果ある。

#### ○参加者

そんなことは、信用できない。並木川の護岸が崩れていることも一年間全く進展がなかった。だからこの説明も話半分にしか聞けない。

○四街道市

今回行っている調査については、市独自で決めているわけではなく、県との協議の上行っている。また、指定調査機関に調査を委託し進めている。地歴調査の際に、疑わしい場合は、表土調査に対して、汚染の恐れが多い場所として指定される。今回、汚染の恐れが多い箇所としては、3月にフッ素が検出された箇所付近。ほかの箇所については、汚染の恐れが少ない箇所となっている。

○参加者

許可をしたうえでの監視体制が全くないですね。並木川のところの件を考えると。そんな状況で、このデータを信じろって言っても無理ですね。空気だけ問題にしている、こちらが気にしている地面を問題にしないというのはおかしい。建設に反対するわけではないが、そんな心配なことがあるのに強行するのはおかしい。こちらが納得するような調査、説明をしてもらいたい。

○参加者

建設予定地を四街道市が買収する時の地権者は何名いたか。

○四街道市

今、手元に資料がないため、お答えできない。

○参加者

その地権者が過去に土地を貸したことがあるか。また、産廃業者が一晩のうちに埋めていた業者が、千葉市若葉区の端や佐倉市、四街道市に結構あります。それを理解しているのか。もしくは、許可を受けていない埋め立て業者が一晩のうちに、地面を掘って埋めていったようなことがあったことを理解しているか。そんなところに施設を建ててしまっ、何かあったらその施設を壊すのかと聞いている。近くのところでも、医療廃棄物がでてきたところが結構あることを理解されているか答えてもらいたい。

○四街道市

地歴調査の際に、過去の埋め立てをした際の資料も全て指定調査機関に渡したうえで、調査を行っている。なので土地の地歴については、その中で把握できていると考えている。

○参加者

医療廃棄物などを許可を得て埋めているわけがない。勝手にやっている。だから、地歴に残るわけがない。それをどうするか。何か出たら、すぐに壊して更地にすると約束をするなら良い。建てた後に土壤汚染が発覚した場合はどのような対策をとるのか。

○アドバイザー

地下水の調査については行っており、地下水の検査の結果問題がなければ対応をする必要はないかと思う。仮に今後土壌汚染により地下水汚染が分かった場合の話がされると、すべての事業についてボーリング調査をしないといけなくなってしまう。

○参加者

それは、してもらわないと困る。しないなら四街道のど真ん中でやればいい。やらないなら絶対に反対である。産廃が埋まっている可能性があるというのは、理解されているか。

○四街道市

確かに、一晩に掘って埋めてしまえば分らない。航空写真を見比べる等、資料の積み重ねを行い、把握できる範囲で把握している。

○参加者

法律に基づかないことは、いっぱいある。四街道市の下流ではなく、千葉市の上流になる。千葉市に流れてこないところならそこまで追及したくない。一度候補地から外れたがこの何年かで、もっとこの土地に決まった経緯も非常に気になる。非社会的団体のような方が絡んで、市がこの土地を買ったのではないか。夜中だけ埋めているようなものは、航空写真ではわからない。納得できない。

○参加者

今の清掃工場のところに、建て替えて使えないのか。大気汚染の調査箇所を千葉市側で一か所も設置していない。千葉市側にもつくってほしい。焼却施設の他に附属する施設は建てるのか。建てた際は、千葉市民も使えるのか。

○四街道市

観測地点については、東西南北に4箇所を測定をした。これは、現況の調査ポイントであり、今後の排ガス等のモニタリングについては、調査地点等の詳細は未定であり、調査地点はご意見等をいただき決定したい。次に焼却施設以外の施設については、ごみ処理施設としては、焼却施設と粗大ごみ処理施設となるが、その他に附帯施設の設置を考えている。余熱利用については附帯施設整備基本構想を策定中であり、施設の内容としては温浴施設、交流スペース健康増進スペース、農産物直売スペース等を考えている。利用者については、未定であるが、千葉市の方も使えるように考えたい。

○参加者

単に千葉市の住民も使えるということではなく、隣接市町村の住民は四街道市民と同等に使えるようになるのか教えてほしい。

○四街道市

現在未定である。

○参加者

決まった時には教えてもらえるのか。パソコンが使えないので、考慮してほしい。

○四街道市

附帯施設については、ご意見として伺う。また、現クリーンセンターについては、平成4年から操業しているが、隣接自治会と操業期限や用地取得期限を約束してきた経緯がある。市も用地取得平成14年3月末の最終取得期限を守れなかった。その後平成15年1月に新ごみ処理施設整備構想を策定し、現施設用地で整備を行うことを隣接自治会に提案したが、進展がなかった。それを受けて、平成17年5月に次期ごみ処理施設用地になりえる土地の情報を広く求めた。その結果6件の情報が寄せられ、総合的に審議した中で、今の吉岡地区が優位であるとなり、平成18年12月及び平成19年3月の議会に用地の取得議案を提出し、全会一致で承認された経緯がある。用地を取得して、吉岡区と協議に入った。

○参加者

市民の嫌がるような施設は、市の中心部から外側に、主要施設は、住民の多い方に整備しますよね。だから、四街道市も千葉市に近いにも関わらず、千葉市寄りのところに整備を行う。だから、附帯施設も四街道市の方と同等に利用できるようにしてもらいたい。

○四街道市

貴重な意見をありがとうございます。市としては、まずはごみ処理施設を建設する。その後、附帯施設を整備していく。次期ごみ処理施設については、平成33年10月の稼働を目指しているが、附帯施設については、それ以降の整備スケジュールとなるため、開設時期がいつ頃になると、お約束できるところまで来ていない。本日いただいた意見については、記録に残すとともに上司にも報告をする。

○参加者

整備する施設は、何年間稼働するのか。

○四街道市

公設民営型の運営を20年間で考えている。ただ、要求水準書の中では、耐用年数を35年としている。

○参加者

ごみ焼却場の焼却灰や粗大ごみの処理後のものはどこに行くのか。

○四街道市

現クリーンセンターの焼却灰については、銚子市と北茨城市の民間最終処分場へ持って行っている。また、プラスチックについては、容器包装リサイクル協会に処理を依頼している。粗大ごみの中で、処理しきれないものは、焼却処理を行っており、埋め立て等は考えておりません。

○参加者

今回、建設を予定している場所に決めた決め手は何か。6件の情報が寄せられたとあるが、今回の場所でなくてはならない理由がわからない。また、工事車両は千葉市側の道路も通るのか。できれば通ってほしくない。また、今回示された数値を万が一オーバーした場合、改善するので安心してくださいと言い切してほしい。

○四街道市

まず、ごみ処理施設で環境基準や、自主規制値を超えた場合にどのような対応をとるかについては、施設の停止、運転の短縮などの対応を取ったうえで、原因究明をおこない、対策をとってから再度稼働することになる。また、環境への影響については、報告書の説明の中で何度もご説明したとおり、事業者の実行可能な範囲で環境への影響を回避、低減されると評価している。次に、6件の情報が寄せられた内容の詳細については、手元に資料がないため回答できない。

○アドバイザー

工事車両については、多いのは生コン等があり、主要な道路を走らせる等の対策を工事施工者へ指導を行う。また、問題等があった場合は、工事施工者に連絡できるような体制を作るので対応できる。

○参加者

例えば、工事車両が近くをよく走っていると苦情を言えば対応してもらえるのか。

○アドバイザー

そうです。いろいろな苦情があれば対応窓口を作ることになる。

○参加者

耐震については、どう設計されているのか。

○アドバイザー

耐震性については、通常の 25 パーセント増しで設計を行う。東日本大震災や熊本大地震などでも、破損があったということを聞いていないので、大地震に耐えられる十分な耐震性があると思う。

○参加者

23 ページの中で、ダウンバースト等の図があるが、モニタリングの設置個所が悪いとうまく観測できず、なかったことになってしまう。その辺はどう対処されるのか。

○アドバイザー

24 ページに予測結果が出ており、いずれのケースでも基準値は下回る結果となっている。バックグラウンド値として、現況調査を行った中で一番高い数値を使用し、その上に付加濃度を足して将来濃度を計算している。それでも目標値を大きく下回っている。

○参加者

コメントを文書で出さなくても、発言は生きると考えて良いか。この場で質問した内容は、意見書と同等に扱ってもらえるのか。

○四街道市

今日の会議録については、作成後、ホームページ等でどなたでもわかるように公表する。

○参加者

議事録については、問題がないようにしてもらいたい。

## 5 閉 会

○四街道市

以上をもって本日の説明会を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上